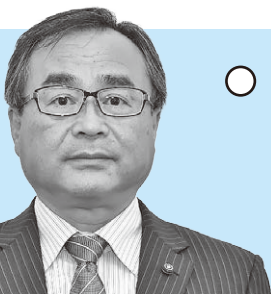


山田安信
議員
日本共産党



○ 中学校の統廃合について

その他の質問

・コロナ禍対策について

問 ① 勝山高校併設案は、新中学校に専用体育施設がなく「借りる」ので問題が発生する。計画3案とも無理を重ねており、問題点を検証した資料を示して説明すべき。

② 勝山では10年で30%も出生数が減り、さらに少子化が進むと、奥越3高校と「普通科の勝山高校」が維持できず、勝山高校併設の効果と必要性の前提が崩れる。

③ 市民との意見交換に向けて、新たな提案や指摘を無視せず、整理して情報提供していくべき。

④ 計画案は決定ではない、発言で不利益を与えない、計画案と異なる意見も尊重する、年度内の決定に固執しない、以上を約束すべき。

⑤ 市民参加で発展的な議論するには、市民投票で決めるべきだ。

答 ① 今年の2月、県から中高併設・連携を進める旨の方針が示されたことを受け、県教委や勝山高校との話し合いの中で、3つの候

補地案が出てきた。これらは、専門機関に調査委託した結果ではないが、県や市の技術職員を混じえて検討し、議員ご指摘のような課題についても話し合った。今後、必要に応じて専門的な検証も加え、最終的な立地場所を決定していく。

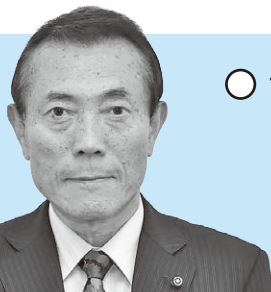
② 中学校再編案は、中高の併設・連携によって、勝山高校への進学率向上を目指している。市内だけでなく市外、県外からの入学者も視野に入れていく。

③ 新たな提案やご指摘には、真摯に対応していく。

④ 市の方針と異なる意見があっても、不利益を与えることは絶対にならない。計画決定時期についても、もっと時間をかけてという意見もあれば、早く進めるべきとの意見もある。

⑤ 中学校再編案について市民から広く意見を聞いたうえで、市議会の判断を仰ぐ進め方が妥当であると考ええる。

丸山忠男
議員
市議会



○ 令和3年1月大雪を教訓として

その他の質問

・地場産企業の支援について
・ワクチン接種について

問 ① 冬場における住宅への浸水被害は、今年も床上浸水が2件、床下浸水が9件あった。30年豪雪の際にも、下袋田区の物件が床下浸水している。

大手坂の流雪による浸水被害の原因は、市内の網状となった水路系統において、上流側での水の切り廻しにより元禄線付近の2号水路の水量が少ない状況の中、それまでに投雪された雪で2号水路が詰まり、本町地区の住宅に浸水したものである。

② 今年1月の想定外の大雪により、幹線道路や生活道路の除雪や排雪がうまく機能しなかった。

③ 毎年開催される雪害対策会議は形骸化していて、現実的、具体的な事例を挙げて協議をするなど、会議内容を検討する必要性が求められていると思うが、見解を伺う。

答 ① 勝山商工会議所の西側に新たな水路を設置し、大手坂を流れる水を元禄線側の流雪溝に引き込み、さらに本町交差点の下流側に流し込む対策を行っていく。また、大手坂に流れ込む水量自体を減らす対策も実施していく。

② 県、市、勝山建設業会で協議し、協力的体制の下、主要幹線道路や物流ルート等、優先したルートから順に除雪を行っていくこととした。

③ 国・県道、市道の優先除雪や応援体制の構築による生活道路の除雪対応、高齢者宅等への除排雪支援、屋根雪下ろしの支援、水路詰まりによる浸水を防ぐ各地区との除排雪連携など具体的な雪害対策を協議し、確認していきたい。